

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1001

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 聖火リレーが行われるタイミングに合わせて市独自のイベントを検討すべきであると思うがどうか。

また、今年度の組織体制において、検討体制、準備体制は十分か。

---

答弁要旨

東京オリンピックの聖火リレーのルートに正式に決まったことから、市民のスポーツへの興味・関心をいっそう高め、尼崎の魅力と歴史を国内外に発信する機会となるよう、聖火リレーの成功に向けた準備を着実に進めていくこととしております。

今後、聖火リレーの実施を契機として、行政のみならず産業団体など様々な主体においても活発な取組が行われ、全市一体となってオリンピックイヤーを盛り上げることができるよう、機運の醸成に努めてまいります。

また、これらの取組については、教育委員会スポーツ推進課が中心となって、関係部署としっかりと連携を密にして進めてまいりたいと考えております。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1002

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 聖火リレーのコースに選ばれたことを、市としてはどのような形で市民に伝えようとしているのか。

---

答弁要旨

東京オリンピックの聖火リレーについては、6月1日にオリンピック組織委員会からルート概要が公表され、尼崎市が通過市となることが新聞やテレビ等を通じて大きく報道されました。

組織委員会の公表を受けての自治体の記者発表等については、各市ではなく、都道府県単位での対応とされたこと、また、出発地及び到着地のホームページや広報紙への掲載は控えるよう指示されたことなどから、市としての積極的な広報は行っていなかったものでございます。

現時点では、公表できる内容や方法に依然として制限はありますが、今後、詳細が決まりしだい、積極的に市民への周知に努めてまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1003

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 聖火ランナーの応募方法などの市民への周知について、今からできる積極的な取組をすぐにでも検討し、実行してもらいたいと思うがどうか。

---

答弁要旨

東京オリンピックの聖火ランナーの募集は、聖火リレーのパートナー企業4社と各都道府県実行委員会によって、それぞれ実施されることとなっております。

応募方法などの周知についての市の取組ですが、企業が行うものについては、応募にあたって当該企業の商品の購入が求められるなど、企業のPRを目的に大々的に宣伝広告されることから、市として積極的に関与することは考えておりません。

また、兵庫県実行委員会による募集については、市のホームページへの掲載のほか、ポスターの掲示やチラシの設置・配付など積極的に協力してまいりたいと考えております。

以上

辻議員1004 作成部局 経済環境局 No.1  
質問要旨 観光分野が経済部の所管になったことでの変化。

---

答弁要旨

今年度から、市内の事業者や産業関係団体との繋がりが強い経済部が観光地域づくりの窓口を担うことになりました。

まだ2か月半でありますので十分な検証とまではいきませんが、例えば、市内事業者から尼崎城に関するお土産の企画や製造といったお話も気軽にご相談いただくなど、事業者が新たな試みにチャレンジする機会となっており、稼ぐ力の創造と経済の活性化に繋がっていると考えております。

以上

辻議員 1005 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 大阪を訪れる観光客が、本市を訪れるような  
取組を考えているのか。

---

答弁要旨

議員ご指摘のとおり、2025年に開催される大阪  
関西万博には、日本のみならず世界各地から多くの  
人々が大阪を訪れることが予想されます。

昨年度、策定いたしました「重点取組地域における  
尼崎版観光地域づくり戦略」では、ターゲットの1つ  
として「関西、特に大阪を訪れる外国人個人旅行者」  
の獲得を掲げており、大阪・関西万博は絶好の機会で  
あると考えております。

そのため、多国籍の方々が安心して訪れていただけ  
るよう多言語対応への整備や、例えば外国人にも魅力  
ある市内事業者の商品の紹介などにより、今後1人で  
も多くの観光客を本市に誘引し、経済の循環を促進す  
るため、国や県の施策の活用も含め、関係機関と連携  
し取り組んでまいります。

以上

質問要旨 待機児童数が年々増加する中、現計画で十分な状況か。新設等による更なる受入枠の増加に向けた対策が必要では。各地区の現状はどうか。

---

### 答弁要旨

これまでも同様のご質問に対し、答弁してまいりましたように、本市の待機児童対策に当たりましては、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、2か年での待機児童の解消に向け、様々な確保策を講じてまいりましたが、新設保育所3か所の開設時期が遅れたことなどにより、約300人の受入枠の増が反映できなかったため、計画期間内の達成はできていない状況にあります。

そのため、今年度も認可保育所や小規模保育事業の公募を行うなど保育所等の定員拡大に取り組むとともに、次期「子ども・子育て支援事業計画」に具体的な供給方を計上し、計画的に取り組んでまいります。

また、4月時点の待機児童数は148人と、前年の156人に比べ8人の減となっております。地区別では園田地区が62人、小田地区が31人とこの2地区が多く、他の地区はいずれも10人程度となっております。 (以上)

辻議員 2003 作成部局 こども青少年局 No.1

質問要旨 保育士が確保できないために、受け入れ予定  
の定員変更が生じた事例はあったのか。

---

答弁要旨

保育需要の増に伴い、更なる保育士不足が予想されますが、本市では、これまで、保育士が確保できないために受け入れ定員の変更を生じた事例はございません。

以上

質問要旨 保育園の保育士確保に向けた取組はどのように行っているのか。また経験のある保育士の確保はできているのか。課題を含め状況はどうか。

---

答弁要旨

保育士確保に重点的に取り組むため、新卒保育士を対象に、一時金として 10 万円を補助する新卒保育士就労支援事業を実施するとともに、経験のある保育士の確保、定着及び離職防止を図るため、宿舎借り上げ支援事業、奨学金返済補助事業にも取り組んでいるところです。

しかしながら、様々な保育士確保策を打ち出している他都市との競合や、保育の無償化による保育需要の伸びに伴い、更なる保育士不足が予想されるなどの課題がございます。

こうしたことから、本市の法人保育施設等の魅力を最大限PRするため、法人保育園等とハローワークによる合同就職フェアを本年8月に開催することとしており、今後も引き続き保育士確保に向け取り組んで参りたいと考えております。

以上

質問要旨 新たな農地貸借に関する法律や制度の周知状況、説明会参加者や農業者の興味・関心をお聞かせください。また、今年度の職員体制と、農業振興・農地保全の取組方針をお聞かせください。

---

答弁要旨

新たな農地貸借の制度である「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に関しましては、昨年 12 月から本年 2 月にかけて、10 回の説明会を開催し、延べ約 300 人の参加がございました。

現時点では、3 件で新たな農地貸借に関する法律を適用し、農地活用につなげたところでございます。

また、認定農業者制度や農業次世代人材投資資金制度等に取り組むため、本年度から職員体制を強化しており、市内農家のサポート力を向上させ、農業振興・農地保全に積極的に取り組んでまいります。

以上

## 質問要旨

現時点において市の食料品の備蓄は、目標にどの程度近づいているのか。

---

## 答弁要旨

本市における食料品の備蓄につきましては、現在、防災センター及び北部防災センター、各地区2カ所の12小学校と武庫西生涯学習プラザ(武庫支所)の計15カ所に、アルファ化米、保存用ビスケット 約9万8千食を確保しております。

地域防災計画では、「南海トラフ巨大地震の被害想定に基づく、発災当日の想定避難者数およそ3万3千人の1人当たり1日分」としており、その数量は概ね確保しておりますが、在宅避難者等の備蓄も確保することが望ましいことから、現在も約12万食の備蓄を目標に進めてまいります。

以上

## 質問要旨

市報でローリングストックの方法もあわせた家庭での防災備蓄について、情報提供を検討していただきたいがどうか。

---

## 答弁要旨

食料品や常備薬等、各個人・ご家庭の状況に応じた備蓄を行っていただき、消費した分だけ買い足し、常に一定量を備蓄しておく、いわゆるローリングストック法については、これまでも尼崎市防災ブックや市政出前講座、防災訓練など機会を捉えお伝えしているところでございます。

議員お尋ねの、市報掲載につきましても、市民の皆様にローリングストック法を実践いただくための効果的な手法の一つと考えておりますことから、掲載に向けて関係部局と調整してまいりたいと考えております。

以上